

## ○中干し後の適正な水管理で根の発達を促進しましょう！ ○出穂前からのカメムシ対策で「斑点米」の発生防止を行いましょう！

### 1 生育概況

#### 【コシヒカリ】

平年に比べて、草丈は短く、茎数・葉色は平年並み、葉令はかなり遅れています。

#### 【てんたかく】

平年に比べて、草丈は短く、茎数はかなり多く、葉色・葉令は平年並みとなっています。

5/2 植えの幼穂形成期は6月25日頃と予測されます。

表 水稻の生育状況 (6/13調査 アルプス米標準田 コシヒカリ15か所、てんたかく3か所の平均値)

品種		草丈 (cm)	茎数		葉齢	葉色	幼穂形成期
			本/株	本/m <sup>2</sup>			
コシヒカリ	R4	30.8	18.0	394	8.0	4.2	—
	R3	33.0	17.0	363	8.2	4.2	7/12
	平年※1	37.2	19.7	404	8.7	4.4	7/10
てんたかく	R4	35.0	33.4	666	9.7	4.5	(6/25)
	R3	37.2	28.6	550	9.2	4.7	6/26
	平年※2	39.9	25.1	541	9.6	4.7	6/26

※1 アルプス米標準田H24～R3の平均値

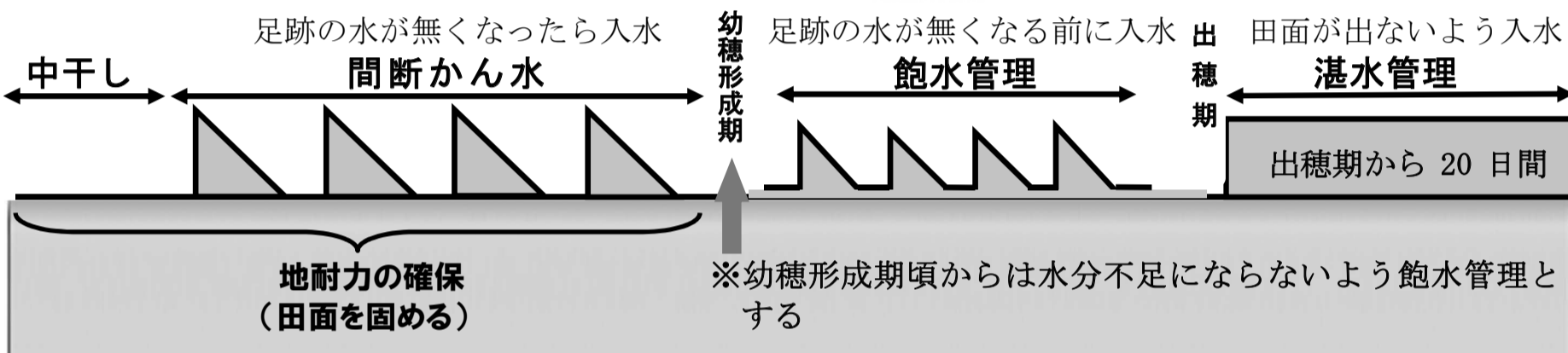
※2 H24～R2まで県生育観測圃2か所の平均値、R3は管内調査圃4か所の平均値

### 2 中干し後の水管理

参照ページ:p70



YouTube  
10 中干し後の水管理



○てんたかくは6/25頃まで、コシヒカリは7/10頃までに足跡の深さが3cm程度になるように間断かん水を行い、しっかりと地固めしましょう。

○幼穂形成期以降は飽水管理とし、強い田干しは避けましょう。

※飽水管理は、「圃場に入水 → 自然減水 → 足跡の水が無くなる前に入水」を繰り返す水管理です。

※4日以上湛水状態が続く圃場では強制落水しましょう。

○出穂後20日間は湛水管理を行いましょう。

### 3 てんたかくの管理

参照ページ:p37～42、p71～73



YouTube  
11 穂肥散布のポイントと注意

#### (1) 穂肥

○令和3年度のとんたかくは、一部の圃場で倒伏が見られました。

基肥一発肥料を施用した圃場については、原則、追加穂肥は行わないでください。

○1回目穂肥は、幼穂長1～2mmを確認後、直ちに施用しましょう。

○移植日や標高により施用時期が前後するので、幼穂長を確認し施用しましょう。

○幼穂形成期前に葉色が4.0を下回る場合は、各営農経済センターにご相談下さい。

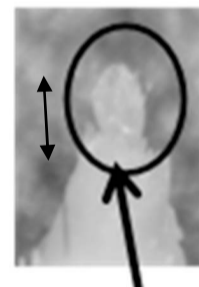
#### (2) 防除時期の目安 (5/2田植え、幼穂形成期6/25、出穂期予想7/17頃の場合)

1回目の防除時期	出穂始め(穂が2～3割見られたら) <b>7/14～15頃</b> ※2回目(穂揃期)、3回目(傾穂期)については次号でお知らせします。
粉剤	バリダジョーカー粉剤 DL(収穫14日前まで) 【散布量】4kg/10a
液剤	バリダシン液剤5 1,000倍(収穫14日前まで) + MR. ジョーカーEW 2,000倍(収穫14日前まで) 【散布量】150ℓ/10a
対象病害虫	紋枯病、カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイ

※田植時期等によって生育差があるため、防除時期は生育状況を確認して決めましょう。

肥料名	(10a当たり)	
	1回目	2回目
追肥3号	6/25頃※	1回目の7～10日後
	10kg	砂壌土 13kg 砂壌土以外 10～12kg

※5/2田植えの場合



幼穂 1～2 mm

令和4年度農薬危害防止運動の実施 ～ 農薬は周りに配慮し正しく使用 ～  
＜運動期間：6月15日～9月14日＞

4 斑点米カメムシ類の防除対策 参照ページ：p10～11、p73～74

～早生の格下げの主要因は、カメムシによる斑点米！！～

**草刈り運動期間：7月1日～10日**  
**<一斉草刈り日：7月2日(土)～3日(日)>**

○カメムシによる斑点米被害を防ぐためには、畦畔等の草刈りと基本防除が不可欠です。また、圃場内にノビエやホタルイが残っていると被害を助長するので、抜き取り等も行いましょう。

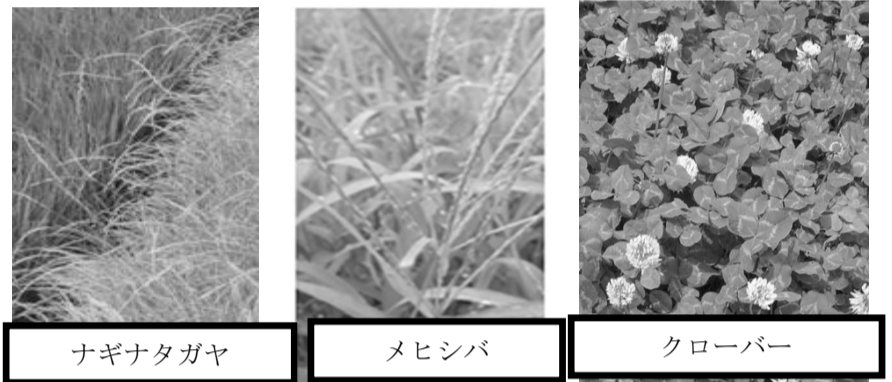
**<草刈りのポイント>**

- 畦畔や雑草地でのカメムシの増殖を抑えるため、イネ科雑草の穂が出る前に草刈りを行いましょう。
- 水田内に発生した雑草(ノビエ、ホタルイ等)も、カメムシの餌になりますので、雑草の発生状況に応じて適切な除草対策を行いましょう。

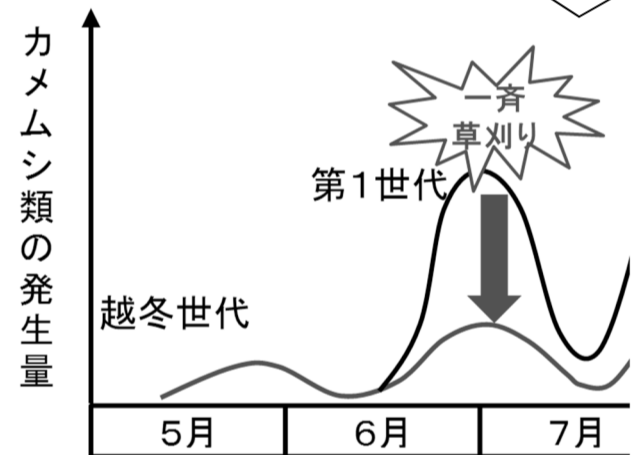
**<草刈り時の留意点>**

- 刈った草については、河川や海岸の環境保全の面からも用排水路には流さないようにしましょう。
- 草刈り機によるケガに十分注意し、草刈り中、近くを人や車が通過する時は、小石等が飛散しないよう注意しましょう。
- 農業経営の維持・安定のためにも、事故防止対策を徹底しましょう。

**カメムシが好む草種**



一斉草刈りの実施で  
カメムシの発生量を減らそう！



**斑点米の原因となる主なカメムシ**

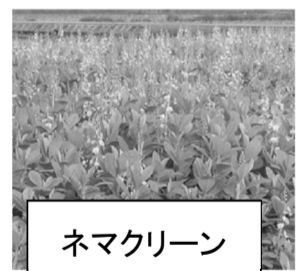


**5 大麦あと圃場の適正管理**

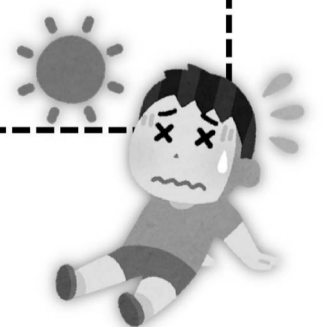
- 大麦あと圃場を放置するとスズメノテッポウ等の雑草が繁茂し、カメムシの発生源になります。
- 緑肥作物等の作付けによりカメムシの繁殖を抑え、斑点米の発生を防止しましょう。
- 何も作付けしない場合は、除草剤散布など雑草等が繁茂しないように管理しましょう。

**【緑肥作物の作付け】**

- 緑肥作物を作付し、雑草の発生抑制と地力向上に努めましょう。
- ◇播種量 : 5～6kg/10a
- ◇播種時期 : 6月中旬～7月上旬
- ◇商品名 ネマコロリ、クロタラリア  
すき込み時期: 播種後 50～70 日
- ◇商品名 ネマクリーン、ネマキング、ネマックス  
すき込み時期: 播種後 60～80 日



～**熱中症には十分注意して作業を行いましょう！**～



**<熱中症予防のための7つのポイント>**

- |                                                  |                      |
|--------------------------------------------------|----------------------|
| ①暑さを避けましょう                                       | ②こまめに水分補給をしましょう      |
| ③急に熱くなる日に注意しましょう                                 | ④暑さに備えた体作りをしましょう     |
| ⑤日頃から健康管理をしましょう                                  | ⑥集団活動の場ではお互いに注意しましょう |
| ⑦熱中症警戒アラートを活用しましょう (環境省・気象庁 HP、富山防災 WEB で確認できます) |                      |